



J17740

初版 / 2021年1月

IN SEARCH OF INCREDIBLE

ユーザーマニュアル



COPYRIGHTについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2021 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証も行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

サポートサイトを開設しました。

<https://www.asus.com/jp/support/>

もくじ

本マニュアルについて	7
このマニュアルの表記について	8
表記	8
安全上の注意	9
本機を使用する	9
本機のお手入れ	10
廃棄・リサイクルについて	11
バッテリーの安全に関する情報	12

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

製品の概要	16
タブレット	16
ASUS ペン（特定モデルのみ）	23
モバイルドック	24
タブレットのスタンドの使用方法	26

Chapter 2: 本機を使用する

使用の手引き	28
本機の充電	28
ディスプレイパネルを持ち上げる	31
電源ボタンを押す	31
タッチスクリーンパネルとタッチパッドの操作	33
タッチスクリーンパネルでのタッチ操作	33
タッチパッドの操作	35
キーボードを使用する	40

Chapter 3: Chromebook 環境で使用する

初めて使用する.....	44
ログインエリア.....	45
ゲストとしてブラウジング.....	45
ユーザーアカウント.....	46
デスクトップを使用する.....	47
アプリ リスト.....	47
ステータス領域.....	49
インターネットへの接続.....	52
Wi-Fi 接続を有効にする.....	52
新しいWi-Fi ネットワーク接続への切り替え.....	52
ネットワーク接続の追加.....	53
Google Chrome.....	55
文書の印刷.....	57
PDFファイルを保存する.....	57
Google クラウド プリント.....	59
ファイルを管理する.....	64
ファイル アプリ.....	64
Google Drive.....	68
本機のリセット.....	72
Powerwashを使用する.....	72
本機の電源をオフにする.....	74
操作画面上からのオペレーション.....	74
本機の電源ボタンの使用.....	74

Chapter 4: FAQとヒント

安全に使用するためのヒント.....	76
ハードウェアに関するFAQ.....	77
ソフトウェアに関するFAQ.....	79

Chapter 5: 付録

内蔵モデムの適応規格（規格/プロトコルなど原文掲載）	82
Overview	82
Network Compatibility Declaration	83
Non-Voice Equipment	83
Coating Notice	85
Federal Communications Commission Interference Statement	86
FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement	87
RF Exposure Information (SAR)	87
UL Safety Notices	88
Power Safety Requirement	89
TV Notices	89
Macrovision Corporation Product Notice	89
Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries)	90
CTR 21 Approval (for Chromebook with built-in Modem)	91
Declaration of Compliance for Product Environmental Regulation	93
EU REACH and Article 33	93
EU RoHS	93
Japan JIS-C-0950 Material Declarations	93
Ecodesign Directive	93
ENERGY STAR complied product	94
EPEAT Registered Products	94
Simplified EU Declaration of Conformity	95
RF Exposure Information (SAR) - CE	95
電気・電子機器に含有される化学物質の表示について	96
回収とリサイクルについて	96
筐体のコーティングについて	96
日本国内での無線周波数帯のご利用について	96
聴覚障害を防ぐため	97

本マニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

本機のハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: 本機を使用する

本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: Chromebook 環境で使用する

本機のChromebook 環境での使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: FAQとヒント

よくある質問とその回答・ヒントが記載されています。

Chapter 5: 付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

注意: 本書で使用されている名称は正式なものではない可能性があります。また、表示画面や操作方法はバージョンアップに伴い一部変更される可能性があります。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない事項です。

注意: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を行う際、人体への危険を避けるため、または本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

表記

太字 = 選択するメニューや項目を表示します。

<> = 操作のために押す、キーボード上のキーです。

安全上の注意

本機を使用する



本機は5～35℃の周辺温度でご使用ください。



入力定格は本機の底部に記載があります。ACアダプターが対応していることを確認してください。



Chromebookは、使用中またはバッテリーパックの充電中に高温になる可能性があります。火傷を防止するため、Chromebookを膝の上や身体の近くから離してご使用ください。Chromebookで作業するときは、換気を妨げる恐れのある面の上に置かないでください。



破損した電源コード、アクセサリまたはその他の周辺機器をご使用にならないでください。



電源がオンのまま本機を持ち運ばないでください。またキャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。



本機を平らでない、不安定な場所に置かないでください。



本機をX線装置 (ベルトコンベアー) に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。



多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

本機のお手入れ



本機のお手入れの際は、電源を切りACアダプターとバッテリーパックが取り外し可能なモデルであればバッテリーパックも取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。短絡または腐食を防止するため、シャーシまたはキーボードの隙間に液体が入らないようにしてください。



本体のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。



本機の上に物を置かないでください。



本機に強い磁気を近づけないでください。



液体・雨・湿気を避けてください。



本機をホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。



本機をガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。



ディスプレイパネルに対する電磁波干渉を防止するため、Chromebookの近くに電源の入った電気デバイスを置かないでください。

廃棄・リサイクルについて



本機やバッテリー（該当する場合）を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



バッテリーを一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

バッテリーの安全に関する情報

バッテリーの保護

- 高電圧で頻繁に充電すると、バッテリーの劣化は早まります。また、モデルによってはバッテリー寿命を延ばすため、バッテリーを満充電後、バッテリー残量が約90%以上を維持できている場合、こちらを下回るまでバッテリー保護の機能が働き、その間は再充電を停止する場合があります。

注意：バッテリー保護の機能が働く場合、再充電を停止する目安は通常、90～99%の間ですが、こちらの数値はモデルによって異なる場合があります。

- 高温な周辺環境でバッテリーを充電した場合、バッテリーの劣化や寿命を早める可能性があります。バッテリーが高温、オーバーヒート状態になると、充電に制限がかかり、停止する場合があります。こちらはバッテリー保護の機能によるものです。
- PC をシャットダウンして AC アダプターを取り外しても、わずかですが電力は消費されます。よって、次回起動時に以前使用していた際よりもバッテリー残量が減っている場合があります。

バッテリーのメンテナンス

- ノートPCを長期間使用しない場合は、バッテリーの充電はバッテリー容量の50%程度にし、端末の電源をオフにしてACアダプターとの接続もしないままにしてください。長期保管による過放電の影響を避けるため3か月に1回、バッテリー容量の50%程度まで再充電することをお勧めします。
- バッテリー性能に影響が出る可能性がありますので、湿度が高い環境下では保管しないでください。また低温にさらされるとバッテリー内部の化学成分が劣化することがあります。一方、温度が非常に高い環境下では破裂する危険性があります。
- ノートPCおよびバッテリーそのものをラジエーター、暖炉、ヒーターなどの熱源の近くに置かないでください。温度が60℃を超えるとバッテリーが破裂したり、薬液が漏れたり、火災の原因となることがあります。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

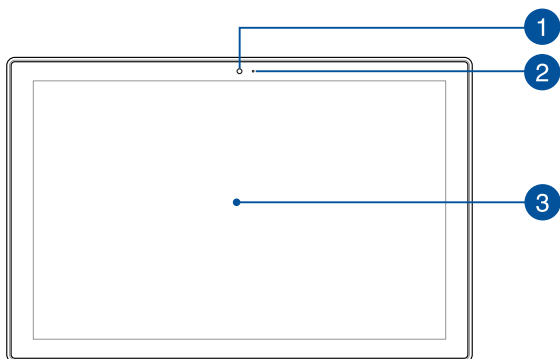
Chapter 1:

ハードウェアのセットアップ

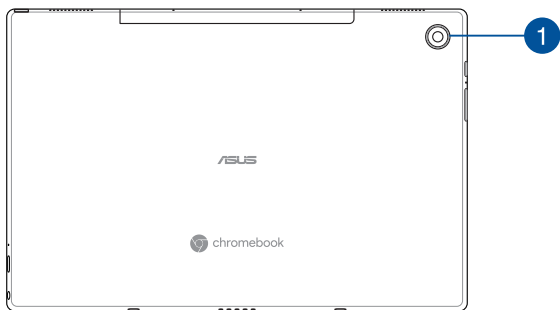
製品の概要

タブレット

前面図



背面



1

カメラ

内蔵カメラにより、画像の撮影と動画の録画ができます。

2

カメラインジケータ

内蔵型カメラの使用時に点灯します。

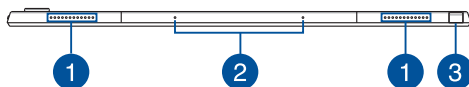
3

タッチスクリーンパネル

本製品のタッチスクリーンパネルは画像や動画、その他マルチメディアファイルの参照に卓越した視認性を発揮します。タッチ操作対応ですので、タッチ操作で本機を操作することができます。

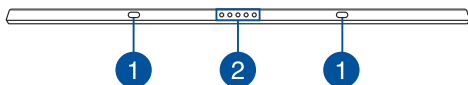
注意: 詳細は「タッチスクリーンパネルでのタッチ操作」をご参照ください。

上部



- 1 オーディオスピーカー**
本機搭載のスピーカーにより、サウンドをご確認いただけます。
- 2 アレイマイク**
エコー除去、ノイズサプレッション、指向性録音機能を備えたアレイマイクです。音声認識性能が高くクリアな音声での録音が可能です。
- 3 スタイルスの収納部 (特定モデルのみ)**
スタイルスペンを収納できます。

下面図



- 1 ヒンジホール**
ラッチのフックをこの穴に合わせて挿入し、Chromebook タブレットをChromebook モバイルドックへ取り付けます。
- 2 ドックポート**
Chromebook タブレットをこのポートへ接続すれば、キーボードとタッチパッドの機能を使用できます。

右側面図



1

バッテリーインジケーター

インジケーターの色でバッテリーの充電状況を表示します。表示内容は次のとおりです。

色	状態
ホワイト	ACアダプターが本機に接続された状態で、バッテリーが満充電の状態です。
オレンジ	ACアダプターが本機に接続された状態で、バッテリーが充電中の状態です。
ホワイト	ACアダプターが本機に接続されておらず、バッテリー充電がされていない状態です。

2 USB 2.0 Type-C®/電源(DC)入力のコンプォをサポート

USB (ユニバーサルシリアルバス) ポートは、キーボード、ポインターツール、フラッシュディスクドライブ、外付けHDD、スピーカー、カメラ、プリンターなどのUSB 2.0/USB 1.1デバイスに対応します。付属の電源アダプターをこのポートへ接続し、バッテリーパックを充電してChromebookへ電源を供給できます。

注意: このポートの転送速度はモデルによって異なる場合があります。

警告: ACアダプターは使用中高温になることがあります。使用中は、物などで覆ったり人体に接触させたりしないでください。

重要: 低電圧電源では、完全に充電するまで通常より時間がかかります。本製品付属のACアダプター以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターと電源コードを他の製品に使用しないでください。故障の原因となります。

重要: 本製品付属のACアダプターおよび/または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターおよび/または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。※お使いのモデルにより付属は異なる場合があります。

3 ヘッドホン/ヘッドセット/マイクジャック

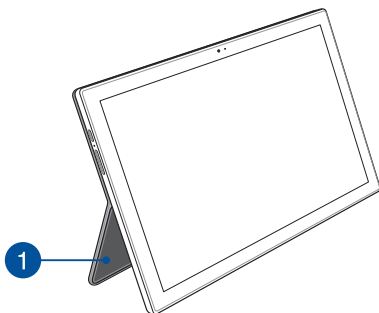
オーディオ出力信号をスピーカーやヘッドホンに接続します。また、ヘッドセットや外付けマイクを接続することもできます。

左側面図



- 1 ボリュームボタン**
本機のシステム音量を調節します。
- 2 電源ボタン**
このボタンを押すと電源がオンになります。

タブレットのスタンド



1 キックスタンド

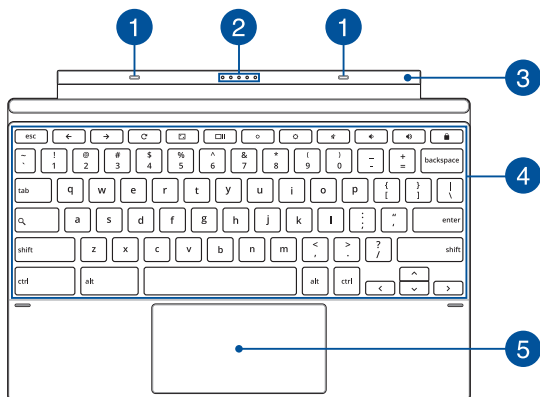
内蔵のキックスタンドを使用してChromebookタブレットを立てかけ、鑑賞角度を調整できます。

ASUS ペン (特定モデルのみ)



モバイルドック

注意: キーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なります。



1 ラッチフック

ラッチのフックを使用して、ChromebookタブレットをChromebookモバイルドックへしっかりと固定できます。

2 ドックコネクター

Chromebookモバイルドックのポートをこのコネクターの上に合わせて、タブレットを確実に取り付けてください。

3 ヒンジ

蝶番は、Chromebookモバイルドックに接続されたタブレットを支えます。また、タブレットを異なる表示角度に調整した際に、タブレットの角度を保ちます。

4 キーボード

クウォーティー (QWERTY) 配列のキーボードには十分なストロークを持たせてあり、パームレストが付いているため快適な操作が可能です。

注意: キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。

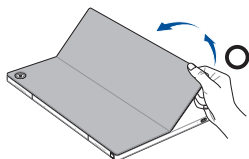
5 タッチパッド

指先を使用して、カーソルを移動したり画面に表示された項目を選択することができます。タッチパッドはマウスと同等の機能を提供するポインティングデバイスです。

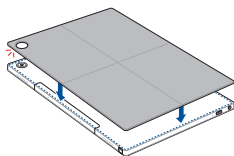
注意: 詳細は「タッチパッドの操作」をご参照ください。

タブレットのスタンドの使用法

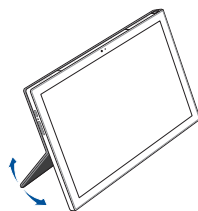
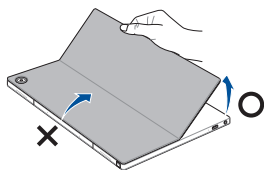
スタンドの取り外し



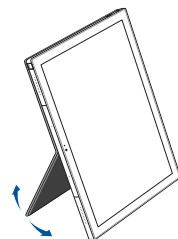
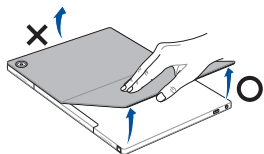
スタンドの取り付け



横方向



縦方向



Chapter 2: 本機を使用する

使用の手引き

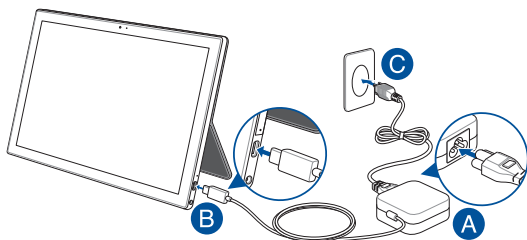
本機の充電

- A. 電源コードをACアダプターに接続します。
- B. ACアダプターの USB Type-C プラグを本機の USB Type-C ポートに差し込みます。
- C. ACアダプターを100V～240Vの電源に接続します。

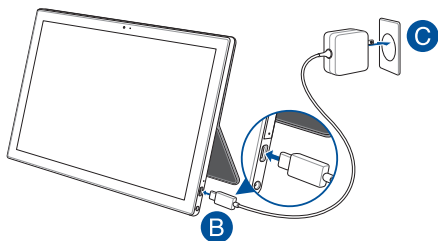


初めてバッテリー電源で本機を使用する際は、3時間程度充電してください。

注意: モデルによってACアダプターの外観/仕様は異なる場合があります。



または



重要:

ACアダプターについて

- 入力電圧: 100-240V
 - 入力周波数: 50-60Hz
 - 定格出力電流: 3A (45W)
 - 定格出力電圧: 15V
-

重要:

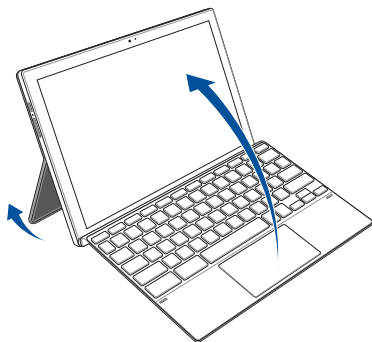
- 入出力定格は製品本体に記載があります。ACアダプターが対応していることをご確認ください。モデルによっては、定格出力電流が複数設定されている場合があります。
 - 本機の電源を初めてオンにするときは、ACアダプターが本機に接続されていることをご確認ください。延長コードを使用せずに、電源コードを壁コンセントに必ず差し込んでください。安全のため、このデバイスは適切に接地されたコンセントにのみ接続してください。
 - 本機をACアダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
 - 主電源から本機を切断するには、電源コンセントから本機の電源コードを抜いてください。
 - 本製品付属のACアダプターおよび/または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターおよび/または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。※お使いのモデルにより付属は異なる場合があります。
-

警告:

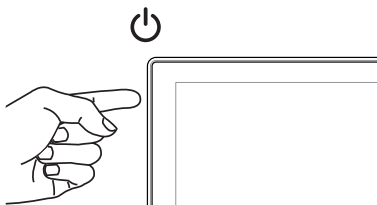
本機のバッテリーに関する警告事項をよくお読みください。

- 本機内蔵のバッテリーの取り外しはASUS公認の技術員のみ対応することができず (非着脱式バッテリーのみ)。
 - 本機内蔵のバッテリーをお客様で自身で取り外した、または分解した場合、火事または化学火傷の危険性があります。
 - 取り扱いの際は警告ラベルの指示に従ってください。
 - ASUS指定以外もしくは本機付属以外のバッテリーに交換した場合、破裂、発火、発熱の恐れがあります。
 - バッテリーを火中へ投下する、火気へ近づける、加熱する、高温状態で放置するなどしないでください。
 - バッテリーの回路をショートさせないでください。
 - バッテリーを分解または改造しないでください (非着脱式バッテリーのみ)。
 - 変形、変色、割れ、サビ、液漏れや異臭、異音などを起こしたバッテリーは直ちにその使用を中止してください。
 - バッテリーは地域の条例等の指示に従ってリサイクル・処理してください。
 - バッテリーおよびその他の部品は、子供の手に届かない場所に保管してください。
-

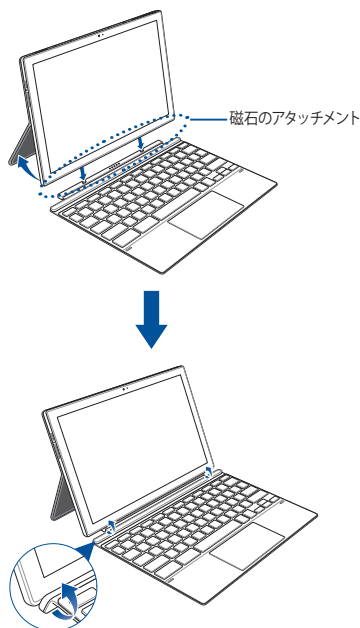
ディスプレイパネルを持ち上げる



電源ボタンを押す



ChromebookタブレットをChromebookモバイルドックに取り付けて使用



警告:

- 上に表示する方向で、ChromebookタブレットをChromebookモバイルドックへ接続してください。ドッキングの方向を間違えると、デバイスが損傷する場合があります。
 - 磁石のアタッチメントは、外付けのストレージドライブや磁気ストライプのカードが消磁されないように、距離を離してください。
-

タッチスクリーンパネルとタッチパッドの操作

プログラムの起動、各種設定を行います。タッチスクリーンとタッチパッドの操作方法は次のイラストと説明をご参照ください。

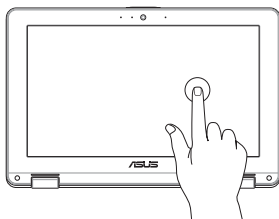
注意:

- タッチスクリーンパネルは特定モデルのみに搭載されています。
 - ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。
 - 本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用です。タッチスクリーンパネルの外観はモデルにより異なります。
-

タッチスクリーンパネルでのタッチ操作

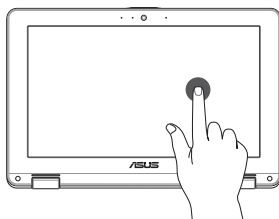
タッチスクリーンパネル対応機種に関しては、タッチ操作でプログラムの起動や本機の設定を行うことができます。各機能は本機のタッチスクリーンパネルで有効にすることができます。

タップ



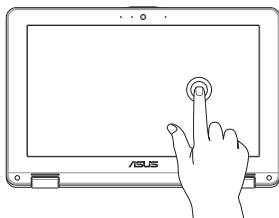
項目をタップして選択し、起動します。

ダブルタップ



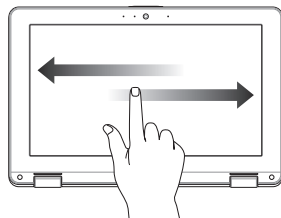
ダブルタップし文字や文章を選択します。

タップ&ホールド



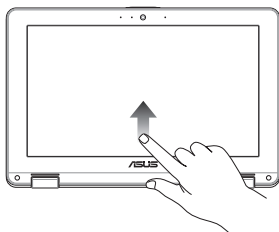
メニューが表示されるまで (メニューが利用できる場合) 項目を長押しし、メニューから項目をタップして選択します。

左右にスライド



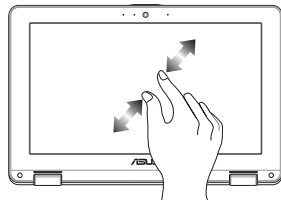
ブラウザー上を左または右方向にスライドし、次または前のウェブページに切り替えます。

下側からなぞる



指先を画面下側から上方向にスライドし、「シェルフを自動的に隠す」機能のオン/オフを切り替えます。

ピンチまたはストレッチ



画面上の2本の指先の距離を広げる/狭めると、ズームイン/アウトすることができます。

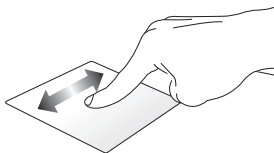
タッチパッドの操作

注意: ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。

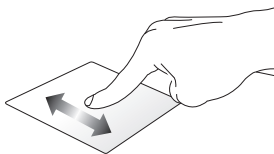
ポインターの移動

タッチパッド上をタップした後でそのまま指をスライドすると、画面上のポインターを移動することができます。

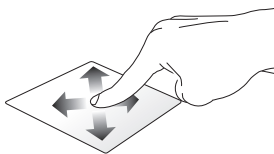
水平にスライド



垂直にスライド

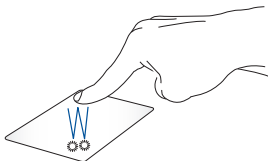


対角線上にスライド



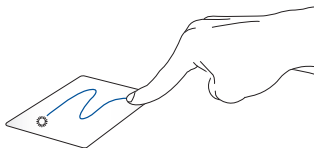
指1本での操作

タップ/ダブルタップ



- アプリをタップし起動します。
- 対象ファイルをダブルタップし起動します。
- アクティブな画面をダブルタップすると、その画面を縮小化/最大化することができます。

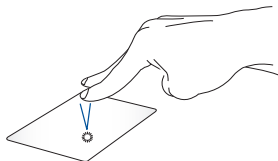
ドラッグ&ドロップ



アクティブな画面をタップし、そのままスライドします。指先をタッチパッドから離すと、ドロップされます。

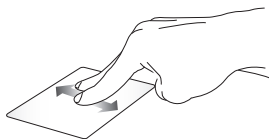
指2本での操作

タップ



指2本をタッチパッド上でタップすると、マウスの右クリックと同じ操作を行うことができます。

指2本でのスクロール（上下）



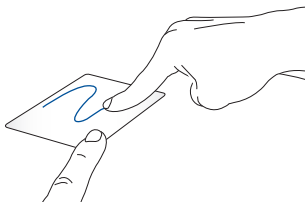
指2本で上下になぞると、ウィンドウが上下にスクロールします。

指2本でのスクロール（左右）



指2本で左右になぞると、ウィンドウが左右にスクロールします。

ドラッグ&ドロップ



1本の指で項目をクリックし、もう1本の指でタッチパッドを目的の方向にスライドすると、項目を別の場所に移動することができます。

指3本での操作

右/左方向になぞる



ウェブブラウザで複数のタブを開いている場合、3本の指を左また右方向になぞると、これらのタブが切り替わります。

下方向になぞる



下方向になぞると、現在Chromebookで開かれているすべての画面の概要が表示されます。

キーボードを使用する

本機のキーボードには、ウェブを簡単に効率良く閲覧するための特別な機能がいくつかあります。



前のページに戻ります。



次のページに移動します。



現在のウェブページを再ロードします。



現在開いている画面のフルスクリーンモード (タブとランチャーが非表示のモード) が有効になります。



概要モード (すべてのウィンドウを表示するモード) に切り替えます。



ディスプレイの明るさを下げます。



ディスプレイの明るさを上げます。



スピーカーの音量がオフになります。



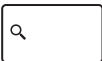
スピーカーのボリュームが下がります。



スピーカーのボリュームが上がります。



画面をロックします。



検索ボックスがアクティブになります。

Chapter 3:

Chromebook 環境で使用する

初めて使用する

本機を初めて使用するときは、Chromebookの基本設定を行う設定画面が表示されます。

設定手順

1. 本機の電源ボタンを押します。案内画面が表示されるので、暫くお待ちください。
2. 案内画面左下に現在の設定言語が表示されていますのでこちらをクリックします。
3. 設定画面から以下の項目の横にあるドロップダウンボタンからオプションを選択します。

- **言語 (Language)**

ドロップダウンメニューから対象の言語を選択します。

- **キーボード (Keyboard)**

ドロップダウンメニューから対象のキーボードの言語を選択します。

- ※ 端末を日本語表示で使用される場合、言語、キーボードとも「日本語」が既に選択されていれば上記オプションは必要ありません。

終了したら、「OK」を選択し、案内画面右下の「**続行**」をクリックします。

4. ネットワークへの接続画面で、表示される一覧から接続するネットワークを選択し、必要に応じてパスワードを入力し「**接続**」をクリックし、次へ進みます。
5. 「**Google Chrome OS 利用規約**」をよく読み内容を確認し、「**同意して続行**」を選択します。

6. 表示されるログイン画面で、Googleアカウントのメールとパスワードを順に入力し、各入力後、「次へ」をクリックし、表示の案内に沿ってセットアップを完了します。Googleアカウントを持っていない場合は、「その他の設定」をクリックして「アカウントを作成」から作成することができます。
このログインの設定をスキップしたい場合は、「**ゲストとしてブラウジング**」をクリックすると、ゲストモードでご利用頂けます。
7. セットアップが完了すると、Chromebook環境で作業を開始することができます。

ログインエリア

本機の電源を入れた後、ログイン画面が表示されます。オプションのいずれかを選択してChromebookを使用することができます。

重要: ログインのオプションを選択する前に、インターネットに接続していることをご確認ください。

ゲストとしてブラウジング

ネットサーフィンを楽しむだけが目的の場合、または他のユーザーが本機を使用できるようにする場合は、このオプションをお勧めします。ゲストとしてサインアウトした場合は、ダウンロードしたファイルやブラウザー履歴、Cookieは保存されません。

ユーザーアカウント

Chromebookのアプリやプログラムを使用することができ、ダウンロードしたファイルやアプリ、ブラウザーの履歴をユーザーアカウントに保存することができます。

ユーザーアカウントへログインする

使用したいユーザーアカウントを選択し、パスワードを入力します。

ユーザーアカウントを追加する

新しいユーザーアカウントを追加する場合は、次の手順を参照してください。

1. ログインエリアの下にある「**ユーザーを追加**」をタップ/クリックします。
2. 表示される画面でユーザーアカウントとして追加したいメールアドレスとパスワードを順に入力し、各入力後、「**次へ**」をクリックし、表示された案内に沿って選択します。メールアカウントはGmailのアカウントである必要があります。新しいGoogleアカウントを追加するには、「**アカウントを作成**」を選択後、案内に沿って先に進み、作成します。

デスクトップを使用する

アプリ リスト

自分のユーザーアカウントでログインした後にアクセス可能なアプリを起動し、本機での作業を開始しましょう。これらのアプリでは、本機の機能を最大限に活用し、様々な機能を利用することができます。

アプリのリストを起動するには、ランチャーの  →  をタップ/クリックします。

注意: ゲストでログインした場合は、シェルフに表示されるアイコンに制限があります。



ランチャーアイコン

シェルフ

シェルフにアプリを追加する

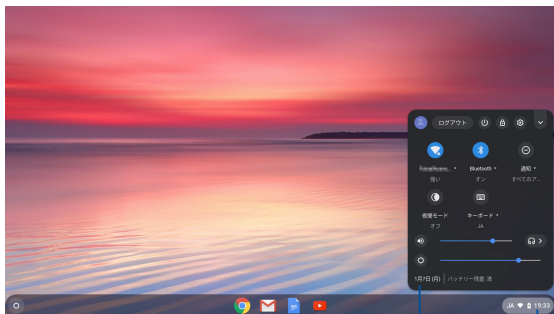
1. 画面左下の  →  の順にクリックしアプリの一覧を表示させます。
2. シェルフに追加したいアプリを2本指でタップし、「**シェルフに固定**」を選択します。

シェルフからアプリを削除する

1. 削除したいアプリを2本指でタップします。
2. 「**固定を解除**」を選択します。

ステータス領域

ステータス領域にはGoogleユーザーアカウント情報の概要が表示されます。また、本機と現在のユーザーアカウントの設定を変更することができます。



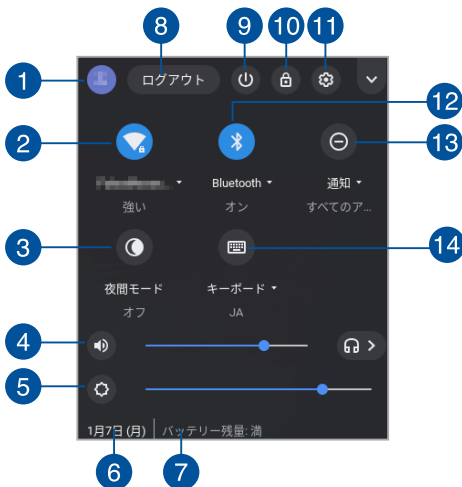
ステータス領域

ステータス領域を起動

ステータス領域の起動

ステータス領域を起動するには、デスクトップ画面の右下にあるステータス領域ボックスの任意の場所をタップ/クリックします。

ステータス領域



1 ユーザーアカウント

現在使用しているGoogleのユーザーアカウントです。

2 ネットワーク

こちらのアイコンをタップ/クリックするとネットワーク接続が切り替わります。また、プルダウンメニューから現在のネットワーク接続、使用可能なネットワークが表示されます。

3 夜間モード

こちらのアイコンをタップ/クリックすると夜間モードのオン・オフが切り替わり、画面の色調が変わります。

4 オーディオ設定

こちらのアイコンをタップ/クリックすると音量のオン・オフが切り替わります。また音量スライダーを左右に移動し、音量の調整が可能です。

- 5 **輝度**
明るさ調整用のスライダーを左右に移動し、輝度を調整します。
- 6 **日時**
このオプションをタップ/クリックすると、タイムゾーンの設定ができます。
- 7 **バッテリー残量**
本機の現在のバッテリー残量が表示されます。また、バッテリー残量がなくなるまでの時間、フル充電されるまでの時間も目安として表示されます。
- 8 **ログアウト**
このオプションをタップ/クリックすると、現在のユーザーアカウントからログアウトすることができます。
- 9 **終了**
このオプションをタップ/クリックすると、現在のログインセッションからサインアウトし、本機の電源を切ることができます。
- 10 **ロック**
このオプションをタップ/クリックすると、現在のセッションをロックしログインエリアに戻ることができます。
- 11 **設定**
このオプションをタップ/クリックすると、Chromebook の設定が開きます。
- 12 **Bluetooth**
こちらのアイコンをタップ/クリックするとBluetooth機能のオン・オフが切り替わります。また、プルダウンメニューからBluetoothデバイスの管理が行えます。
- 13 **通知**
こちらのアイコンをタップ/クリックすると通知のオン・オフが切り替わります。こちらの設定はプルダウンメニューから確認できます。
- 14 **キーボード**
キーボード設定を表示します。

インターネットへの接続

本機でChromebook 環境で使用するためには、インターネット接続が必要です。Wi-Fi接続を使用して、ワイヤレス環境でインターネットに接続します。

Wi-Fi 接続を有効にする

手順

1. ステータス領域を起動します。
2. 「未接続」を選択し、Wi-Fi 接続を自動的に有効にします。

新しいWi-Fi ネットワーク接続への切り替え

デフォルト設定では、本機は初めて使用したときに行なったセットアップで選択したWi-Fiネットワークを使用するように設定されています。新しいネットワーク接続を選択する必要がある場合は、以下の手順を参照してください。

1. ステータス領域を起動します。
2. 現在のWi-Fiネットワーク接続を選択します。
3. ネットワークの現在のリストから新しいWi-Fiネットワーク接続を選択し、必要に応じてパスワードを入力し、「接続」をクリックします。

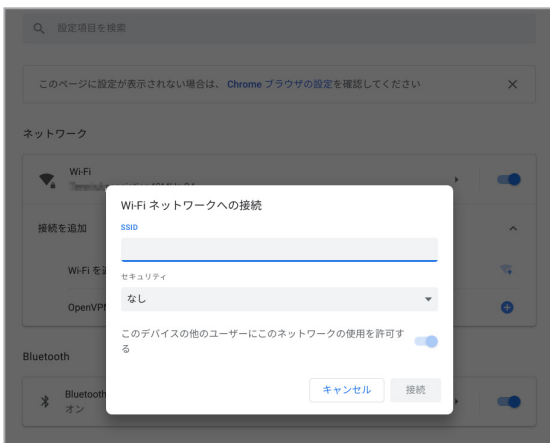
ネットワーク接続の追加

ネットワークのリストに新しいネットワーク接続を追加する

1. ステータス領域を起動します。
2.  をタップ/クリックします。
3. 「ネットワーク」の枠内から「**接続を追加**」を選択します。



4. 「**Wi-Fiを追加**」を選択します。新しいネットワーク接続のセットアップに必要な詳細情報を入力します。



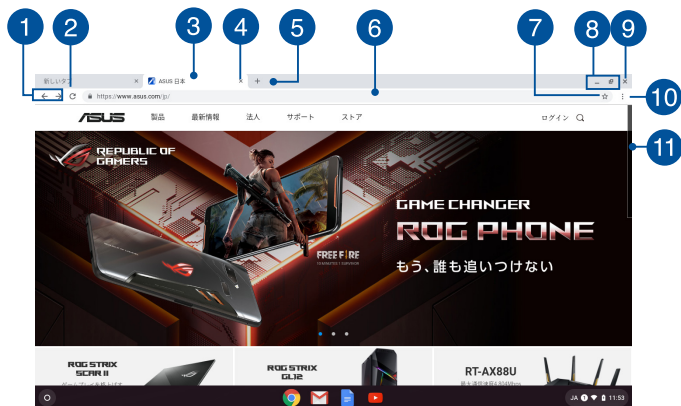
5. 「**接続**」を選択し、新しいネットワーク接続でインターネットに接続します。

Google Chrome

ウェブブラウザのGoogle Chromeは、オンライン接続するための主なツールです。インターネットを楽しむ以外にも、Chromebookで起動したアプリケーションのほとんどを表示します。

Chromeを起動するには、シェルフの  をタップ/クリックします。

Chrome の概要



- 1 前/次のページアイコン**
これらのアイコンを押すと、前のページ/次のページに移動することができます。
- 2 再読み込み**
表示しているページを再読み込みできます。

- ③ **タブ**
Google Chrome上で複数のサイトやアプリケーションを起動することができます。
- ④ **閉じる**
このオプションをクリックすると、現在のタブが閉じます。
- ⑤ **新しいタブ**
このオプションをクリックすると、Google Chromeで新しいタブが起動します。
- ⑥ **アドレスバー**
アドレスバーには表示しているタブの現在のファイルパスまたはウェブサイトのアドレスが表示されます。検索ワードを下に入力し、 を押しウェブ検索することもできます。
- ⑦ **ブックマーク**
クリックすると、表示しているウェブページがブックマークに追加されます。
- ⑧ **最大化/最小化**
Google Chromeを最大化または最小化します。
- ⑨ **閉じる**
このボタンをクリックすると、Google Chromeが閉じます。
- ⑩ **設定**
クリックすると、Google Chromeの設定をカスタマイズすることができます。
- ⑪ **スクロールバー**
このバーを上下に動かし、ウェブページを上下にスクロールします。

文書の印刷

Chromebookの印刷機能では、Google クラウド プリントを使用してハードコピーを作成する、またはPDF形式でファイルを保存することができます。

PDFファイルを保存する

手順

1. 印刷するファイルを開き **ctrl** + **p** を押します。
2. 画面右側で、必要に応じて変更したい設定を選択し、「**送信先**」オプションが「**PDFに保存**」になっているのを確認します。



3. 「保存」をタップ/クリックし次に表示される画面で、PDFファイルとしてファイルを保存する場所を選択し、ファイル名を画面下の枠に入力します。



4. 「保存」をタップ/クリックし、PDFファイルを作成します。

Google クラウド プrint

本機からファイルを印刷する場合は、Google クラウド プrint機能で印刷することができます。Google クラウド プrintではクラウド対応のプリンタを使用してクラウド環境で印刷を行います。

使用方法は、下記の記載をご参照ください。

クラウド対応のプリンタを使用する

お使いのプリンターがGoogle クラウド プrintをサポートしている場合は、そのプリンターのユーザーマニュアルをご参照ください。

プリンターの互換性は次のURLで確認することができます。

<https://www.google.com/cloudprint/learn/>

注意: お使いのプリンターがリスト内にない場合は、本マニュアルの「Google クラウド プrintに従来のプリンタを接続する」をご参照ください。

Google クラウド プリントに従来のプリンタを接続する

Google クラウドに対応しない従来のプリンタをGoogleで使用するには、設定を手動で行う必要があります。

本機で従来のプリンタを使用するには、互換性のあるWindows®コンピュータを通じてプリンタを Google クラウド プリントに接続する必要があります。

重要:

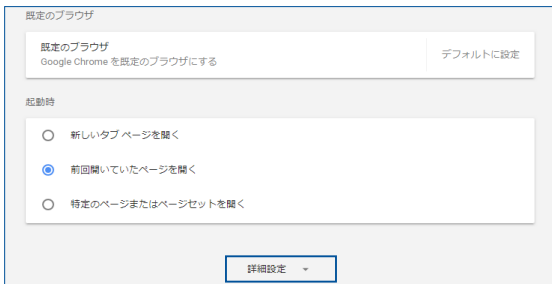
- お使いのコンピュータにWindows®XP以降のOSがインストールされていることを確認してください Windows® XPをご使用の際は、Windows XP Service Pack 3がインストールされていることを確認してください。
 - プリンタをGoogle クラウド プリントに接続する前に、互換性のあるWindows® コンピューターにプリンタをインストールする必要があります。
 - コンピューターにはGoogle Chromeがインストールされていることを確認してください。
-

従来のプリンタをGoogle クラウド プリントに接続する

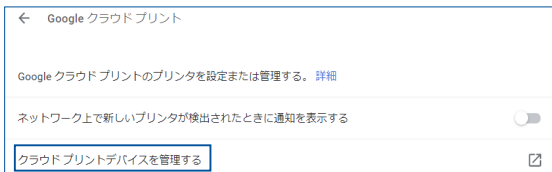
1. 使用したいプリンタをコンピューターに接続し、両方の電源を入れます。

重要: 次の手順に進む前に、コンピューターからプリンタの印刷が可能な状態になっていることをご確認ください。

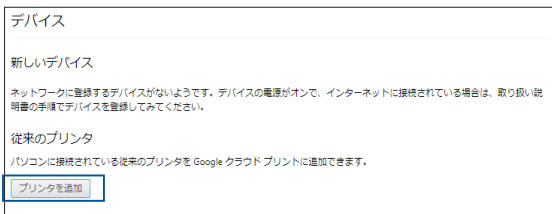
2. インターネットにコンピューターを接続し、Google Chromeを開き、Google アカウント にログインします。
3.  → 「設定」をクリックします。
4. 「詳細設定」をクリックします。



5. 下方向にスクロールし「Google クラウド プリント」を表示し「クラウドプリントデバイスを管理する」をクリックします。



6. 「従来のプリンタ」の下の「プリンタを追加」をクリックします。



7. Google アカウントにまだログインしていない場合はここでログインします。
8. 表示される画面で、Google クラウド プリントに接続したいプリンターをクリックし、「**プリンタを追加**」をクリックします。
9. Google クラウド プリントとプリンタのセットアップが完了すると、次のような画面が表示されます。



Google クラウド プリントで印刷する

Google クラウド プリントとプリンタを接続した後は、次の手順で本機からファイルを印刷することができます。

1. 印刷するファイルを開き **Ctrl** + **P** を押します。
2. 「送信先」オプションのプルダウンメニューから「もっと見る...」を選択します。



3. 「Google クラウド プリント」の登録されたプリンタのリストから、使用するプリンタを選択します。
4. 必要に応じて印刷オプションを設定し、「印刷」をクリックします。

ファイルを管理する

「Google ドライブ」アプリと「ファイル」アプリで本機上のファイルの管理と保存が可能です。

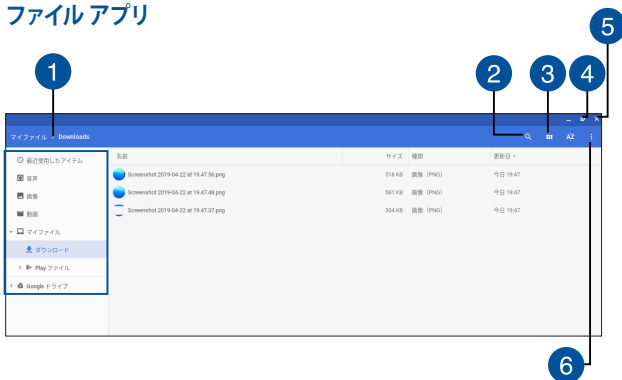
これらのアプリを使用すると、本機での作業中に文書や画像、オーディオ、ビデオなどの様々なファイルを保存し、編集することができます。また、Google ドライブのクラウドストレージを通じ、これらのファイルを保存しアクセスすることができます。

ファイル アプリ

ファイル アプリは、本機にダウンロードされたファイルとGoogle ドライブに保存されているファイルをすべて閲覧することができます。また、本機に接続されているすべての外付けストレージデバイスが表示されます。

「ファイル」アプリを起動するには、 →  →  をタップ/クリックします。

ファイル アプリ



1 ファイルの保存場所

この列には現在使用できるファイルの場所が表示されます。また、本機に接続されているすべての外付けストレージデバイスが表示されます。

2 検索

検索ボタンをタップ/クリックすると、検索ボックスが有効になります。検索ボックスを使用するには、検索したいファイル名を入力

し  を押します。

3 リスト表示とギャラリー表示に切り替え

このオプションをタップ/クリックし、リスト表示またはギャラリー表示とで、ファイルの表示形式を切り替えます。

4 最小化/最大化

ファイル アプリのウィンドウを最大化または最小化します。

5 閉じる

このボタンをタップ/クリックすると、ファイル アプリのウィンドウが閉じます。

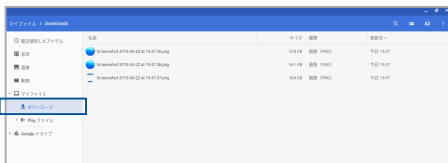
6 設定

このボタンをタップ/クリックすると、現在アクティブなファイルの場所の設定をカスタマイズすることができます。

本機に保存されたファイルへのアクセス

ファイル アプリの「ダウンロード」フォルダーには、ダウンロード/保存されたファイルが保存されています。

これらのファイルにアクセスするには、「ファイル」アプリを起動し「ダウンロード」フォルダーを選択し、開きたいファイルをタップ/クリックします。



別のフォルダーにファイルを移動する

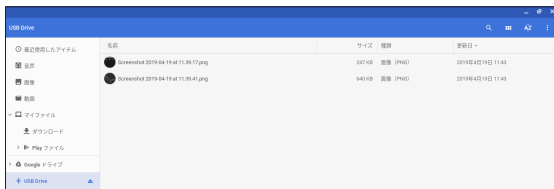
ファイル アプリから別の場所にファイルを移動したい場合は、以下の手順をご参照ください。

1. ファイルが現在保存されているファイルの場所を開きます。
2. 移動したいファイルを選択し、新しいファイルの場所にファイル（複数可）をドラッグ&ドロップします。

デバイスのマウント解除

お使いのデバイスが本機から安全に切断されていることを確認するには、以下の手順でファイル アプリからそれらのデバイスをマウント解除します。

1.  →  →  の順にタップ/クリックします。
2. マウント解除したいデバイスを選択し  をタップ/クリックします。



3. マウント解除されたデバイスがファイルの場所に表示されなくなれば、デバイスを本機から取り外すことができます。

新しいフォルダーの作成

新しいフォルダーを作成したい場合は、次の手順をご参照ください。

1. ファイル アプリ画面で、新しいフォルダーを作成したい場所を選択します。
2.  +  を押し、新しいフォルダーを作成します。

Google Drive

Google ドライブはクラウドストレージで、Googleアカウントでアクセスすることができます。スマートフォンやタブレットPC、他のChromebookなどのデバイス間で、ファイルの同期とファイルへのアクセスが可能です。

ファイル アプリを使用する、またはGoogle ドライブを起動することで、本機のGoogle ドライブにアクセスすることができます。

ファイル アプリからGoogle ドライブを起動する

ファイル アプリの下のGoogle ドライブを使用すると、現在Google ドライブに保存されているすべてのファイルを閲覧することができます。また、簡単にGoogle ドライブにダウンロードフォルダーからファイルを移動することができます。

手順

1.  →  →  をタップ/クリックします。
2. 「**Google ドライブ**」を選択し、保存されているすべてのファイルを以下のカテゴリーで表示することができます。
 - **マイドライブ:** 保存されたファイルを表示します。
 - **共有アイテム:** 他のGoogleアカウントで共有されているファイルを表示します。
 - **オフライン:** オフラインでアクセスが可能なファイルを表示します。

Google ドライブにダウンロードしたファイルを移動する

デフォルト設定では、本機にダウンロードされたファイルは「ファイル」アプリの「ダウンロード」内に保存されます。次の手順でGoogle ドライブにダウンロードしたファイルを移動することができます。

1.  →  →  をタップ/クリックします。
2. 「ダウンロード」をタップ/クリックし、移動したいGoogleドキュメントやファイル、フォルダーを選択し、Google ドライブまでドラッグ&ドロップします。

Google ドライブを起動する

Google ドライブにアクセスすることにより、その設定をカスタマイズし最適化することができます。

重要: Google ドライブを起動するときは、インターネットに接続されていることをご確認ください。

Google ドライブを起動するには、 →  →  をタップします。

Google ドライブ



1 新規/アップロード

このオプションをタップ/クリックすると、選択項目により、フォルダの新規作成、ファイルやフォルダのアップロード、ドキュメントの新規作成等が可能です。

2 ファイルの保存場所

Google ドライブで現在使用できるファイルの場所が表示されます。

3 検索

検索を開始するには、このボタンをタップ/クリックします。

4 検索ボックス

Google ドライブ内でファイルやフォルダー、Googleドキュメントを検索します。検索語彙を入力し  を押すか、 をタップ/クリックします。

5 設定

このボタンをタップ/クリックすると、Googleドライブの設定をカスタマイズすることができます。

6 リスト表示とギャラリー表示に切り替え

このオプションをタップ/クリックすると、リスト表示とギャラリー表示とで、ファイルの表示形式を切り替えます。

7 詳細とアクティビティ

このオプションをタップ/クリックすると、Google ドライブアカウントの活動ログと「マイ ドライブ」のファイルの場所の詳細が表示されます。

本機のリセット

Chromebookをデフォルト設定にリセットする必要がある場合は、Powerwashを使用します。

Powerwashを使用する

警告:

- このオプションを実行する前に全てのデータをバックアップしてください。
- Powerwashを使用すると、本機のローカルデータはすべて削除されます。ただし、Google ドライブアカウントとこれらのアカウントと同期しているデータは影響を受けません。

- ステータス領域を起動し、 を選択します。
- 下にスクロールし「**詳細設定**」をタップ/クリックします。



3. 「設定のリセット」のタイトルの下にあるPowerwashの欄より「リセット」をタップ/クリックします



4. プロンプトが表示されたら、「再起動」をタップ/クリックします。



5. 表示されるウィンドウで「Powerwash」をタップ/クリックします。

本機の電源をオフにする

次のいずれかの手順で本機の電源をオフにすることができます。

操作画面上からのオペレーション

1. ステータス領域を起動します。
2.  をタップ/クリックします。

本機の電源ボタンの使用

システムが応答しなくなった場合、電源ボタンを押すことで本機をオフにすることができます。

重要: データの保存がされていない場合、そちらのデータの損失が発生することがあります。

本機の電源がオフになるまで、本機の電源ボタンを少なくとも4秒間押してください。

Chapter 4: FAQとヒント

安全に使用するためのヒント

大切なデータを守り、安全に快適にご使用いただくためのヒントを記載しました。本製品の使用方法に関する記載と併せてお読みください。

- アンチウイルスソフト:
ウイルスからパソコンや大切なデータを守るため、ウイルス対策のソフトを利用しましょう。
- 強制終了・停電:
突然の電源断などによる機器の停止は問題を引き起こす可能性があります。使用中はバッテリーをできる限り装着し、機器の停止時も正しいシャットダウンをしましょう。
- バックアップ:
本機が起動しないなど故障した際、大切なデータを取り出せなくなる可能性があります。定期的に外付けの記憶装置などへバックアップをお取りください。
- Chromebookを長期間使用しない場合、バッテリーを50%まで充電し、Chromebookの電源を切り、AC電源アダプターから外してください。
- 環境温度:
高温となる場所でのご使用は控えてください。
- 本機のリセット:
リセットを行う際は周辺機器を周辺機器をすべて取り外し、次の項目がすべて揃っていることをご確認ください。
 - バックアップデータ
 - ログインIDとパスワード
 - インターネット接続に必要な情報不明点がある場合は、ネットワーク管理者もしくはプロバイダーにお問い合わせください。

重要: 本製品付属のACアダプターおよび/または電源コード以外で本機に電力を供給しないでください。また、付属のACアダプターおよび/または電源コードを他の製品に使用しないでください。故障・事故の原因となります。
※お使いのモデルにより付属は異なる場合があります。

ハードウェアに関するFAQ

1. 液晶ディスプレイに黒い点や、常時点灯(赤、青、緑)している点がある

製品の品質には万全を期していますが、液晶ディスプレイにはごくわずかですが不完全な表示(ドット抜け)が発生する場合があります。これらは製品の品質を損なうものではありませんが、ASUSの提供する保証サービスが適用される場合がございます。詳しくは、製品に同梱の保証書もしくはASUSコールセンターまでご連絡ください。

2. 液晶ディスプレイの色や明るさにむらがある

液晶ディスプレイの構造上、見る角度や環境により、明るさや色にむらが見える場合があります。また、液晶ディスプレイの明るさや色合いはモデルによって異なる場合があります。

3. バッテリー駆動時間を長くする方法

以下の方法を推奨します。

- 液晶ディスプレイの表示を暗くします。
- マウスやUSB機器など、使わない周辺機器は取り外します。
- 大きな負荷がかかるアプリの使用を避けます。

4. バッテリー状態表示ランプが点灯しない

- ACアダプターまたは充電されたバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認してください。
- ACアダプターとバッテリーパック(取り外し可能なモデルのみ)を取り外し、1分以上待ってから再度入れて起動してください。
- それでも点灯しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5. スピーカーから音が出ない

-  を押し、音量の調節などお試しください。
- ご使用のアプリなどで、ミュート設定になっていないかご確認ください。
- ヘッドホン出力用のジャックに何か接続されていないかご確認ください。接続されている場合は、そちらを取り外してください。

6. 消耗品の購入、ACアダプターをなくした際などの対応方法

コールセンターへご連絡、もしくはASUS Storeをご確認ください。

ASUS Store; <https://jp.store.asus.com/>

※URLは予告なく変更する可能性があります。

7. キー入力中にカーソルが移動し、正しくキー入力ができない

お使いのモデルがタッチパッド搭載モデルの場合は、手のひらや洋服の袖などがタッチパッドに触れ、そのため、カーソル移動が発生している可能性があります。

ソフトウェアに関するFAQ

1. **インジケーターは点灯しているが、画面に何も表示されない**
 - 電源ボタンを長押しし、電源を切り、ACアダプターとバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認のうえ、再度、電源を入れてください。
 - それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。
2. **「Chrome OS is missing or damaged. Please insert a recovery USB stick or SD card」が表示される**
 - 以下サイトをご確認のうえChromeの復元をお試しください。
<https://support.google.com/chromebook/answer/1080595>
※URLは予告なく変更されるがあります。
3. **本機が起動しない**
 - 接続してUSBデバイスなどをすべて取り外して、電源を入れてください。
 - それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。
4. **スリープ状態**
 - バッテリー残量が少なくなっている、もしくは、完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し電源ボタンを押してください。
 - 一旦、電源ボタンを長押しし、機器を強制終了後、電源ボタンを押し、起動してください。なお、保存していないデータは失われます。

Chapter 5: 付録

内蔵モデムの適応規格(規格/プロトコルなど原文掲載)

The Chromebook with internal modem model complies with JATE (Japan), FCC (US, Canada, Korea, Taiwan), and CTR21. The internal modem has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems you should contact your equipment supplier in the first instance.

Overview

On 4th August 1998 the European Council Decision regarding the CTR 21 has been published in the Official Journal of the EC. The CTR 21 applies to all non voice terminal equipment with DTMF-dialling which is intended to be connected to the analogue PSTN (Public Switched Telephone Network).

CTR 21 (Common Technical Regulation) for the attachment requirements for connection to the analogue public switched telephone networks of terminal equipment (excluding terminal equipment supporting the voice telephony justified case service) in which network addressing, if provided, is by means of dual tone multi-frequency signalling.

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the Notified Body and the vendor: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties."

Statement to be made by the manufacturer to the user: "This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties. The manufacturer shall also associate a statement to make it clear where network compatibility is dependent on physical and software switch settings. It will also advise the user to contact the vendor if it is desired to use the equipment on another network."

Up to now the Notified Body of CETECOM issued several pan-European approvals using CTR 21. The results are Europe's first modems which do not require regulatory approvals in each individual European country.

Non-Voice Equipment

Answering machines and loud-speaking telephones can be eligible as well as modems, fax machines, auto-dialers and alarm systems.

Equipment in which the end-to-end quality of speech is controlled by regulations (e.g. handset telephones and in some countries also cordless telephones) is excluded.

This table shows the countries currently under the CTR21 standard.

Country	Applied	More Testing
Austria ¹	Yes	No
Belgium	Yes	No
Czech Republic	No	Not Applicable
Denmark ¹	Yes	Yes
Finland	Yes	No
France	Yes	No
Germany	Yes	No
Greece	Yes	No
Hungary	No	Not Applicable
Iceland	Yes	No
Ireland	Yes	No
Italy	Still Pending	Still Pending
Israel	No	No
Lichtenstein	Yes	No
Luxemburg	Yes	No
The Netherlands ¹	Yes	Yes
Norway	Yes	No
Poland	No	Not Applicable
Portugal	No	Not Applicable
Spain	No	Not Applicable
Sweden	Yes	No
Switzerland	Yes	No
United Kingdom	Yes	No

This information was copied from CETECOM and is supplied without liability. For updates to this table, you may visit http://www.cetecom.de/technologies/ctr_21.html.

1 National requirements will apply only if the equipment may use pulse dialling (manufacturers may state in the user guide that the equipment is only intended to support DTMF signalling, which would make any additional testing superfluous).

In The Netherlands additional testing is required for series connection and caller ID facilities.

Coating Notice

IMPORTANT! To provide electrical insulation and maintain electrical safety, a coating is applied to insulate the device except on the areas where the I/O ports are located.

Federal Communications Commission Interference Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING! The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement

WARNING! Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

A minimum separation distance of 0 cm must be maintained between the user's body and the device, including the antenna during body-worn operation to comply with the RF exposure requirements in Europe.

RF Exposure Information (SAR)

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The exposure standard employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the EUT transmitting at the specified power level in different channels.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the Notebook PC modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- DO NOT use the Notebook PC near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- DO NOT use the Notebook PC during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- DO NOT use the Notebook PC in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (non-rechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- DO NOT dispose the Notebook PC battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- DO NOT use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm² or H05VV-F, 2G, 0.75mm².

TV Notices

Note to CATV System Installer—Cable distribution system should be grounded (earthed) in accordance with ANSI/NFPA 70, the National Electrical Code (NEC), in particular Section 820.93, Grounding of Outer Conductive Shield of a Coaxial Cable – installation should include bonding the screen of the coaxial cable to the earth at the building entrance.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S.A. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision Corporation. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries)

CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)

ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)

VORSICHT! Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)

ADVARSEL! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)

VARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)

VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan suosittelemaan tyyppiin. Hävitä käytetty paristo valmistajan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)

ATTENTION! Danger d'explosion si la batterie n'est pas correctement remplacée. Remplacer uniquement avec une batterie de type semblable ou équivalent, recommandée par le fabricant. Jeter les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)

ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)

注意: バッテリーの交換は正しく行ってください。破裂する危険があります。交換の際は、メーカーが指定したバッテリーをお使いください。また、廃棄の際は家庭ゴミとまとめて捨てずに、最寄の廃棄物処理施設等に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。 (Japanese)

ВНИМАНИЕ! При замене аккумулятора на аккумулятор иного типа возможно его возгорание. Утилизуйте аккумулятор в соответствии с инструкциями и производителя. (Russian)

CTR 21 Approval (for Chromebook with built-in Modem)

Danish

»Udstyret er i henhold til Rådets beslutning 98/482/EF EU-godkendt til at blive opkoblet på de offentlige telefonnet som enkeltforbundet terminal. På grund af forskelle mellem de offentlige telefonnet i de forskellige lande giver godkendelsen dog ikke i sig selv ubetinget garanti for, at udstyret kan fungere korrekt på samtlige nettermineringspunkter på de offentlige telefonnet.

I tilfælde af problemer bør De i første omgang henvende Dem til leverandøren af udstyret.»

Dutch

„Dit apparaat is goedgekeurd volgens Beschikking 98/482/EG van de Raad voor de pan-Europese aansluiting van enkelvoudige eindapparatuur op het openbare geschakelde telefoonnetwerk (PSTN). Gezien de verschillen tussen de individuele PSTN's in de verschillende landen, biedt deze goedkeuring op zichzelf geen onvoorwaardelijke garantie voor een succesvolle werking op elk PSTN-netwerkaansluitpunt.

Neem bij problemen in eerste instantie contact op met de leverancier van het apparaat.”

English

“The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.”

Finnish

”Tämä laite on hyväksytty neuvoston päätöksen 98/482/EY mukaisesti liitettäväksi yksittäisenä laitteena yleiseen kytkentäiseen puhelinverkkoon (PSTN) EU:n jäsenvaltioissa. Eri maiden yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen välillä on kuitenkin eroja, joten hyväksyntä ei sellaisenaan takaa häiriötöntä toimintaa kaikkien yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen liityntäpisteissä.

Ongelmien ilmetessä ottakaa viipymättä yhteyttä laitteen toimittajaan.”

French

«Cet équipement a reçu l'agrément, conformément à la décision 98/482/CE du Conseil, concernant la connexion paneuropéenne de terminal unique aux réseaux téléphoniques publics commutés (RTPC). Toutefois, comme il existe des différences d'un pays à l'autre entre les RTPC, l'agrément en soi ne constitue pas une garantie absolue de fonctionnement optimal à chaque point de terminaison du réseau RTPC.

En cas de problème, vous devez contacter en premier lieu votre fournisseur.»

German

„Dieses Gerät wurde gemäß der Entscheidung 98/482/EG des Rates europaweit zur Anschaltung als einzelne Endeinrichtung an das öffentliche Fernsprechnetz zugelassen. Aufgrund der zwischen den öffentlichen Fernsprechnetzen verschiedener Staaten bestehenden Unterschiede stellt diese Zulassung an sich jedoch keine unbedingte Gewähr für einen erfolgreichen Betrieb des Geräts an jedem Netzabschlußpunkt dar.

Falls beim Betrieb Probleme auftreten, sollten Sie sich zunächst an ihren Fachhändler wenden.“

Greek

«Ο εξοπλισμός έχει εγκριθεί για πανευρωπαϊκή σύνδεση μεμονωμένου τερματικού με το δημόσιο τηλεφωνικό δίκτυο μεταγωγής (PSTN), σύμφωνα με την απόφαση 98/482/ΕΚ του Συμβουλίου· ωστόσο, επειδή υπάρχουν διαφορές μεταξύ των επιμέρους PSTN που παρέχονται σε διάφορες χώρες, η έγκριση δεν παρέχει αψ' εαυτής ανεπιφύλακτη εξασφάλιση επιτυχούς λειτουργίας σε κάθε σημείο απόληξης του δικτύου PSTN.

Εάν ανακύψουν προβλήματα, θα πρέπει κατ' αρχάς να απευθύνεστε στον προμηθευτή του εξοπλισμού σας.»

Italian

«La presente apparecchiatura terminale è stata approvata in conformità della decisione 98/482/CE del Consiglio per la connessione paneuropea come terminale singolo ad una rete analogica PSTN. A causa delle differenze tra le reti dei differenti paesi, l'approvazione non garantisce però di per sé il funzionamento corretto in tutti i punti di terminazione di rete PSTN.

In caso di problemi contattare in primo luogo il fornitore del prodotto.»

Portuguese

«Este equipamento foi aprovado para ligação pan-europeia de um único terminal à rede telefónica pública comutada (RTPC) nos termos da Decisão 98/482/CE. No entanto, devido às diferenças existentes entre as RTPC dos diversos países, a aprovação não garante incondicionalmente, por si só, um funcionamento correcto em todos os pontos terminais da rede da RTPC.

Em caso de problemas, deve entrar-se em contacto, em primeiro lugar, com o fornecedor do equipamento.»

Spanish

«Este equipo ha sido homologado de conformidad con la Decisión 98/482/CE del Consejo para la conexión paneuropea de un terminal simple a la red telefónica pública conmutada (RTPC). No obstante, a la vista de las diferencias que existen entre las RTPC que se ofrecen en diferentes países, la homologación no constituye por sí sola una garantía incondicional de funcionamiento satisfactorio en todos los puntos de terminación de la red de una RTPC.

En caso de surgir algún problema, procede ponerse en contacto en primer lugar con el proveedor del equipo.»

Declaration of Compliance for Product Environmental Regulation

ASUS follows the green design concept to design and manufacture our products, and makes sure that each stage of the product life cycle of ASUS product is in line with global environmental regulations. In addition, ASUS disclose the relevant information based on regulation requirements.

Please refer to <http://csr.asus.com/Compliance.htm> for information disclosure based on regulation requirements ASUS is complied with.

EU REACH and Article 33

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://csr.asus.com/english/REACH.htm>.

EU RoHS

This product complies with the EU RoHS Directive. For more details, see <http://csr.asus.com/english/article.aspx?id=35>.

Japan JIS-C-0950 Material Declarations

Information on Japan RoHS (JIS-C-0950) chemical disclosures is available on <http://csr.asus.com/english/article.aspx?id=19>.

Ecodesign Directive

European Union announced a framework for the setting of ecodesign requirements for energy-related products (2009/125/EC). Specific Implementing Measures are aimed at improving environmental performance of specific products or across multiple product types. ASUS provides product information on the CSR website. Further information could be found at <https://csr.asus.com/english/article.aspx?id=1555>.

ENERGY STAR complied product



ENERGY STAR is a joint program of the U.S. Environmental Protection Agency and the U.S. Department of Energy helping us all save money and protect the environment through energy efficient products and practices.

All ASUS products with the ENERGY STAR logo comply with the ENERGY STAR standard, and the power management feature is enabled by default. The monitor and computer are automatically set to sleep within 10 and 30 minutes of user inactivity. Users could wake your computer through click the mouse, press any key on the keyboard, or press the power button.

Please visit <http://www.energystar.gov/powermanagement> for detail information on power management and its benefits to the environment. In addition, please visit <http://www.energystar.gov> for detail information on the ENERGY STAR joint program.

NOTE: Energy Star is NOT supported on FreeDOS and Linux-based products without power management.

EPEAT Registered Products

The public disclosure of key environmental information for ASUS EPEAT (Electronic Product Environmental Assessment Tool) registered products is available at <https://csr.asus.com/english/article.aspx?id=41>. More information about EPEAT program and purchase guidance can be found at www.epeat.net.

Simplified EU Declaration of Conformity

ASUSTek Computer Inc. hereby declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU. Full text of EU declaration of conformity is available at <https://www.asus.com/support/>.

The WiFi operating in the band 5150-5350 MHz shall be restricted to indoor use for countries listed in the table below:

AT	BE	BG	CZ	DK	EE	FR
DE	IS	IE	IT	EL	ES	CY
LV	LI	LT	LU	HU	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SI	SK	TR
FI	SE	CH	UK	HR		



RF Exposure Information (SAR) - CE

This device meets the EU requirements (2014/53/EU) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/Kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For next-to-body operation, this device has been tested and meets the ICNIRP exposure guidelines and the European Standard EN 50566 and EN 62209-2. SAR is measured with the device directly contacted to the body while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について



資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト (<http://green.asus.com/english/>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートPC等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉碎され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

重要: 感電などを防ぐため、本機は絶縁性のあるコーティング材を使用しています(入出力ポート搭載部分を除く)。

日本国内での無線周波数帯のご利用について

特定モデルでは5GHz帯をサポートしています。電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限り、5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動中継局と通信する場合を除く。

聴覚障害を防ぐため

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなることがあります。ご注意ください。



